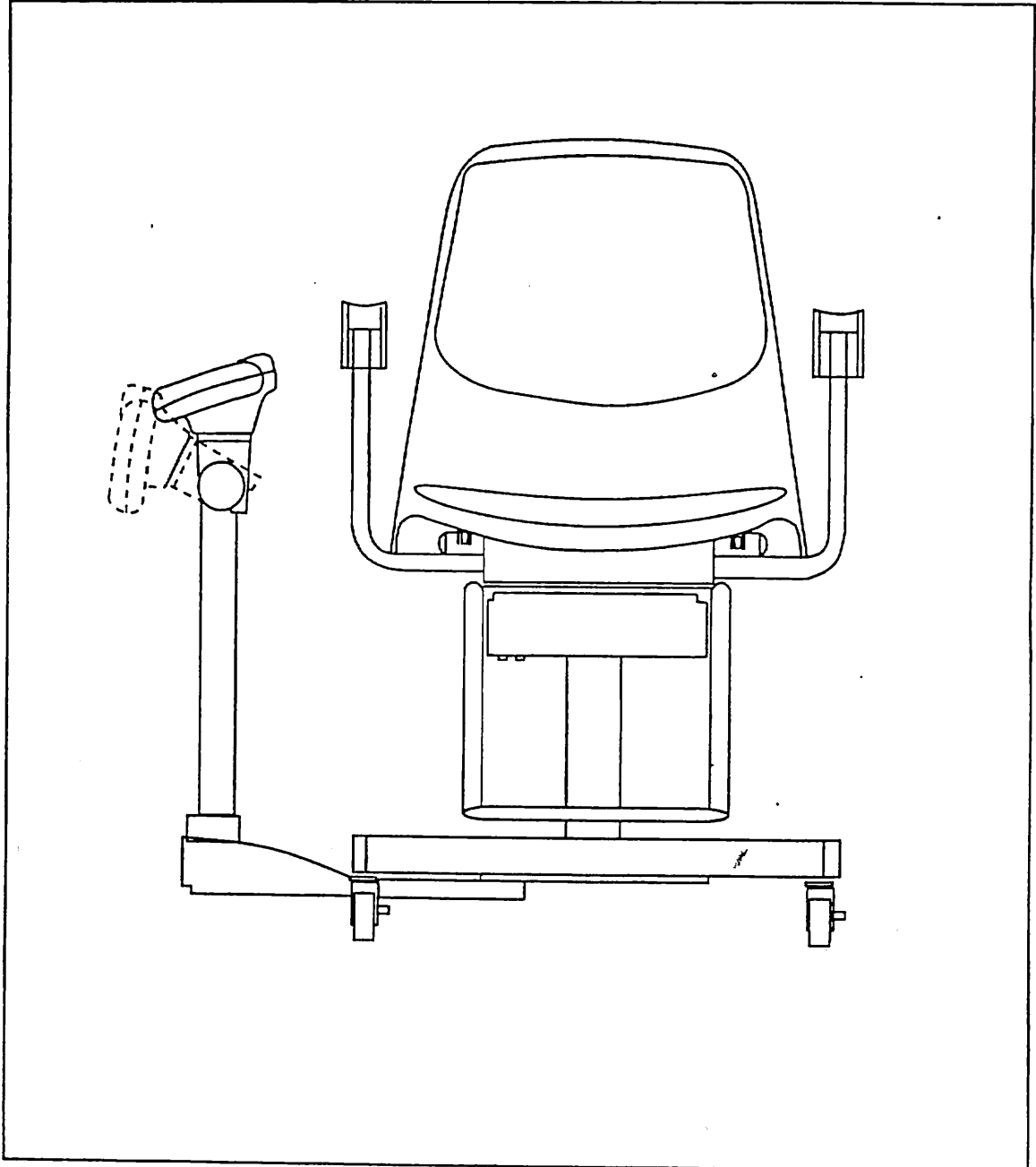


AD-6206

チェアスケール

取扱説明書



注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 1993 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1 .	概要	ページ	2
2 .	梱包内容	ページ	2
3 .	注意事項	ページ	3
4 .	各部名称と機能	ページ	4
5 .	使用前の準備	ページ	5
6 .	使用方法	ページ	7
7 .	ファンクション	ページ	8
7-1	オートパワーオフ	ページ	8
7-2	RS-232C	ページ	9
7-3	表示固定	ページ	10
8 .	ローバッテリー表示と電池交換	ページ	11
9 .	オプション	ページ	11
	OP-03 RS-232Cインターフェイス	ページ	12
	OP-04 プリンタ台	ページ	15
	OP-05 プリンタ用インターフェイス	ページ	15
10 .	キャリブレーション	ページ	16
10-1	キャリブレーションの準備	ページ	16
10-2	重力加速度補正	ページ	17
10-3	ゼロのキャリブレーション (ゼロの校正)	ページ	19
10-4	スパンのキャリブレーション (スパンの校正)	ページ	20
11 .	修理を依頼される前に!	ページ	22
12 .	仕様・外形図	ページ	23
13 .	重力加速度マップ	ページ	25



1. 概要

このたびは弊社のチェアスケールをご購入いただきましてありがとうございます。
このAD-6206は、次の特徴があります。

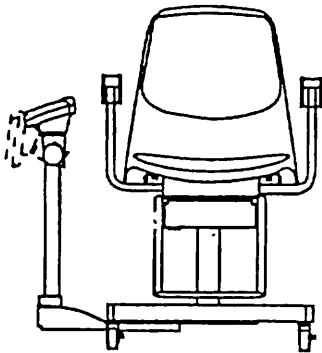
1. 最小表示を100g単位または20g単位で最大150kgまで測定できます。
2. 計量値を読みやすくするため、安定マークの表示と共に計量値を固定できます。
3. 電源にはACアダプターまたは乾電池（別売）を使用できます。
4. オートパワーオフ機能で未使用時には自動的に電源を切り、乾電池の消耗を抑えます。
5. 表示器は角度が変えら見易い角度に合わせられます。
6. RS-232C（別売オプション OP-03）を取り付けることによりコンピュータ等とのデータ通信が可能になります。
7. プリンタ用インターフェイス（別売オプション OP-05）を取り付けることにより測定値をプリンタに印字する事が可能になります。
8. 高精度でかつ安定した測定を行なう為、重量を検出するセンサ部にロードセルを使用しています。
9. 電波障害及び、静電気等による誤動作を防止するために、RFI、EMI対策がされています。



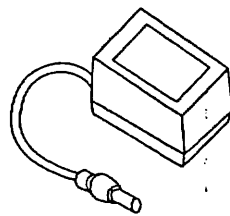
2. 梱包内容 (附属品一覧)

梱包箱を開けた際に、以下の物が入っていることを確認して下さい。

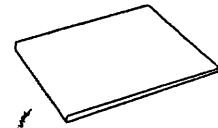
本体(椅子,表示部)



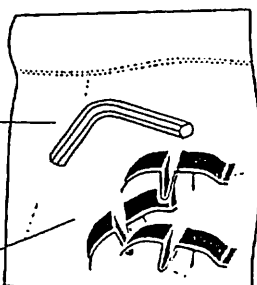
ACアダプター
(AX-TB113)



取扱説明書



付 属 品



六角レンチ

ケーブル押え

保 証 書

保証書



3. 注意事項

設置場所の注意

- ・ 振動や風の影響を受けない平らな場所で、かつ本体および披測定者の重さにも耐えうる床上に設置してください。
- ・ 直射日光の当たる場所は避けて下さい。
- ・ 外来電源ノイズや、強力な電波、磁気等による影響を受けない場所に設置して下さい。
- ・ 引火、爆発する恐れのある物質が近くにある場所には設置しないで下さい。
- ・ 設置場所の温度、湿度は本機の使用温度・湿度範囲以内にして下さい。[-5℃～35℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)]

使用上の注意

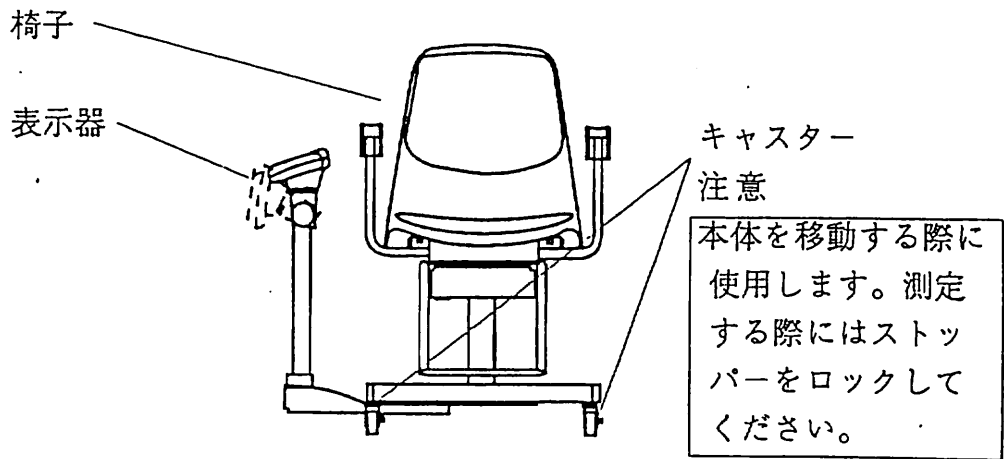
- ・ 本機を改造しないで下さい。改造された製品については弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ・ 使用を開始する前には必ず本機が安全に動作する事を確認してから御使用下さい。なお万一異常が発見された時は速やかに使用を中止して、故障中の表示を行ない弊社営業所へ連絡して下さい。
- ・ 測定を行なう際には、キャスターのストッパーをロックして御使用下さい。
- ・ AD-6206は精密体重計です。取扱には注意して下さい。
 - ・ 椅子に飛び乗ったりしないこと。
 - ・ 乱暴に取り扱わないこと。
 - ・ ボールペン等尖ったものでスイッチを押さなど。
 - ・ 体重を測定する際は、しずかに椅子にすわり測定が終了するまでは体を動かさないこと。
- ・ 本機は人間の体重を測定する事を目的としています。これ以外の目的(人や物を移動させたり、運搬するなど)で使用しないで下さい。

保守上の注意

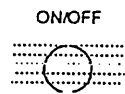
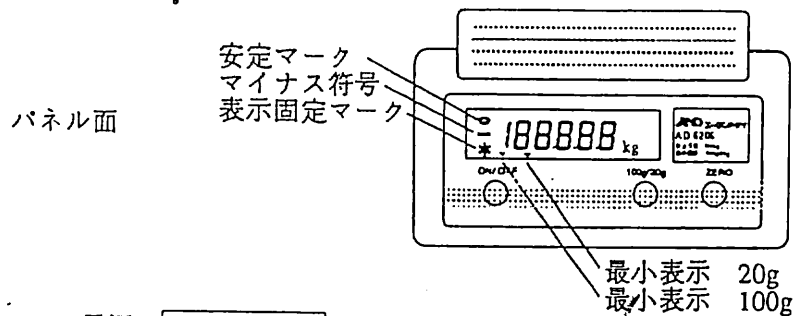
- ・ 清掃するときアルコール・シンナー等の有機溶剤は使用しないこと。変色変形の原因になります。

4. 各部名称と機能

4-1 本体部

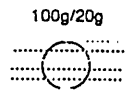


4-2 表示部

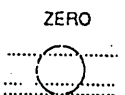


電源のON/OFFスイッチです。

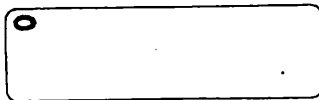
オート・パワーオフ機能を使うと電源ON時、5分間以上ゼロ表示が続くと、本機は自動的に電源OFFします。オート・パワーオフ機能の設定は、ファンクション設定にて行ないます。



スイッチを押すたびに最小表示単位が100gまたは20gに切り替わります。



表示をゼロにすることができます。



安定マーク。表示が安定すると表示します。



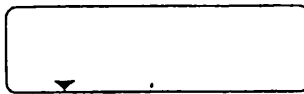
マイナス符号。表示をゼロにした重さより軽いとき表示します。



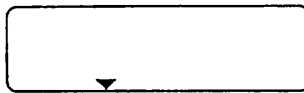
* マークが点灯したとき表示値を固定します。

表示値の固定はファンクション設定 **F3 1** または **F3 2** で設定し、+1 kg 以上で安定したときに行ないます。

表示値の固定の解除は、固定された表示から±3 kg 以上変動があったときまたは、ゼロ表示したときに行ないます。



最小表示単位が100gのとき点灯します。

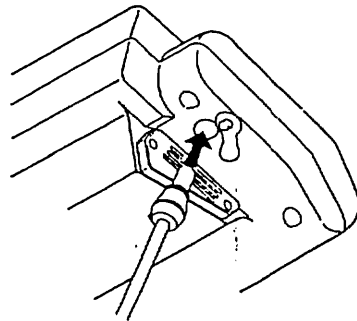


最小表示単位が20gのとき点灯します。

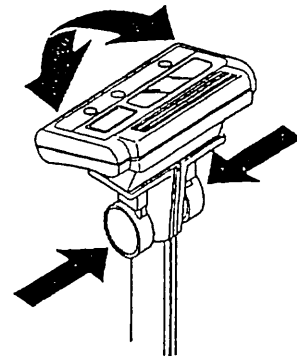


5. 使用前の準備

- (1) ACアダプターを使用する際は、下図(A)の位置にプラグを差し込んでください。
- (2) 表示器の角度調整ノブを（下図B）を両側から押す事により、表示器の角度を見易い角度に調整できます。



(A)



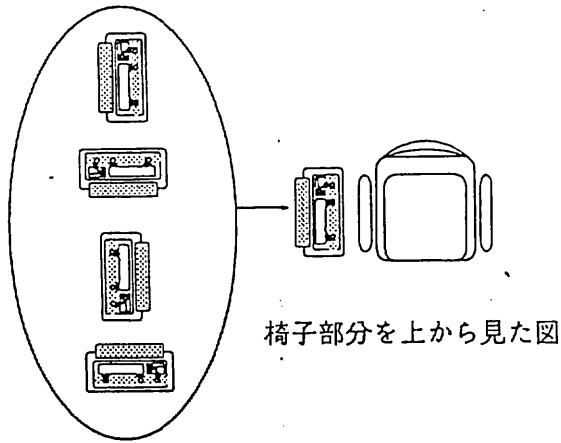
(B)

- (3) 表示器の取り付け方向、および位置の変更
表示器の取り付け向き、および位置は変更できます。変更必要な場合は、(3)-2に従って変更して下さい。

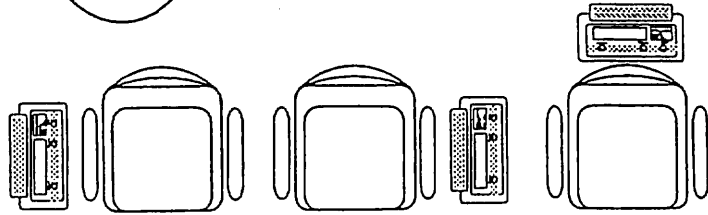
注意 作業を行なう、電源を切り（ACアダプタ使用時はプラグを本体から抜いて下さい。）

(3)-1

- ・表示器の取り付け向き
いずれかの向きに
取り付け可能です。
(90度の角度毎に
回転できます。)



- ・表示器の取り付け位置
表示器は椅子の左右
または後方のいずれか
に取り付け可能です。



椅子部分を上から見た図

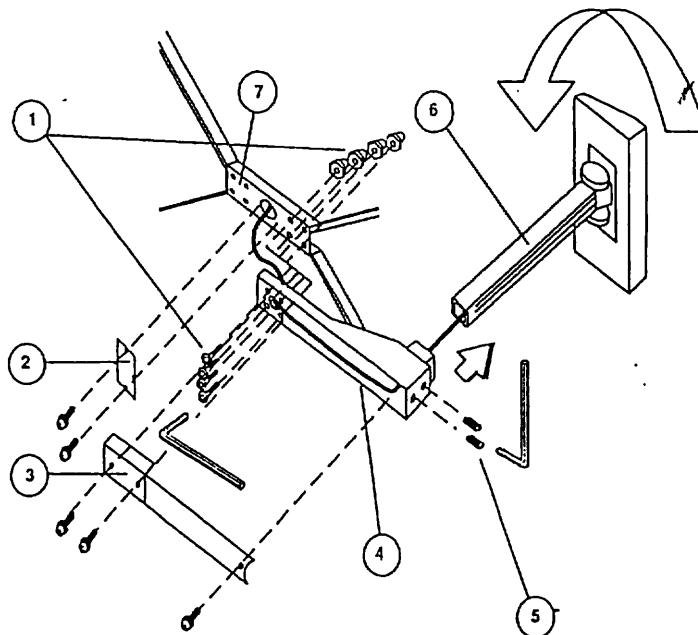
(3)-2 変更作業手順

- ・表示器の取り付け向き変更

1. 下図⑤を付属のレンチで取り外す。
2. 下図⑥を静かに④から抜き、任意の向きに合わせて④に差し込む。
3. 取り外したねじ⑤を付属のレンチで取り付ける。

- ・表示器の取り付け位置

1. 本体を静かに床に寝かせる。
2. 下図の②を取り外す。
3. 下図の③を取り外す。
4. 下図の①を付属のレンチで取り外し、④の位置から⑦の位置に移動し、取り外しの作業の逆の手順で外した部品を取り付ける。(椅子の後方に取り付ける場合は、2本のねじで椅子の後方に取り付ける。)





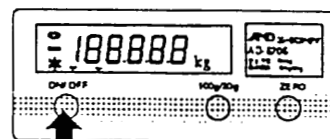
6. 使用方法

1 測定を開始する前に下記の事を確認して下さい。

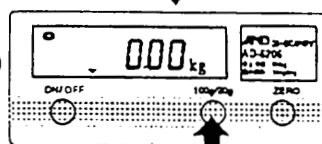
注意 以下の事項が満足されていないと電源を入れたときZEROスイッチが機能しないことがあります

- ・椅子の上に何も乗っていないこと。
- ・肘かけ,フットレストが他の物に接触していないこと。

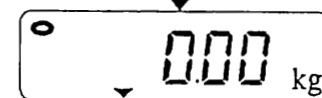
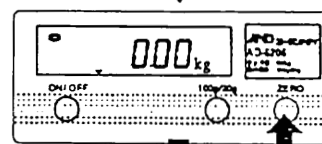
2 **ON/OFF** スイッチを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。



3 最小表示単位を選択します。(電源投入時は100gとなっています。)

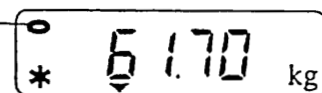


4 表示値がゼロになるよう**ZERO**スイッチを押して下さい。
(ZERO スイッチは風袋スイッチとしても機能します。)



5 椅子に静かに座り,フットレストに両足を乗せます。安定マークが表示され、体重が読み取れます。

安定マーク



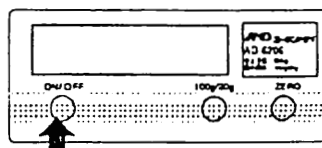
注意

- ・測定中は体を動かさないで下さい。測定誤差の原因となります。
- ・フットレストには足を乗せるだけで、全体重をかけないでください。椅子が転倒する危険性があります。

6 測定が終了したら椅子から静かに降ります。このときフットレストのうえに立たないでください。

7 必要に応じて、手順4～6を繰り返します。

8 電源を切る時は、**ON/OFF** スイッチを押して下さい。





7. ファンクション

AD-6206には、基本動作の他に、以下の機能が設定できます。

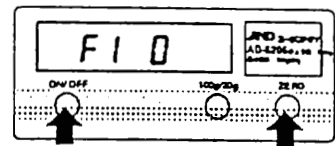


7-1 オートパワーオフ

何も操作されないうちに、「0.00Kg」表示が5分間続くと自動的に電源を切って、電源の消耗を防ぎます。

設定方法

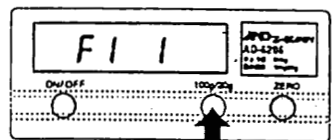
1 ZEROスイッチを押したまま、ON/OFFスイッチを押して電源を入れてください。



2 100g/20gスイッチを押して機能を選択します。

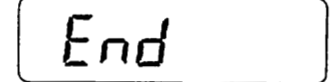
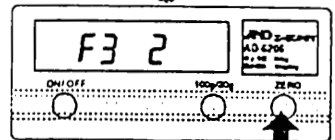
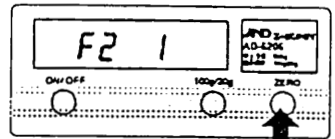
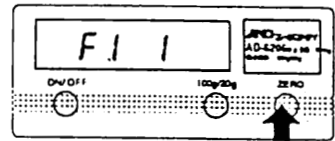
(* 出荷時設定)

F1	0	オートパワーオフ機能を使用しない
	* 1	オートパワーオフ機能を使用する

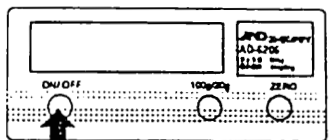


値合わせスイッチ

3 ZEROスイッチを3回押して、Endを表示させてください。設定値を登録します。



4 ON/OFFスイッチを押してください。設定を終了します。



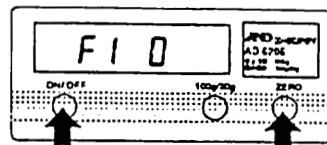
7-2 RS-232C

オプション (OP-03) のシリアルインターフェイスを接続することによって、RS-232Cの動作を以下のように、選択できます。

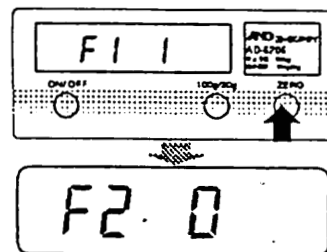
オプション (OP-05) のプリンタ用インターフェイスを使用するときは常にファンクション" F-2" を F2-0 に設定してください。

設定方法

1 ZERO スイッチを押したまま、ON/OFF スイッチを押して電源を入れてください。



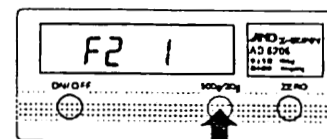
2 ZERO スイッチを押して F2 を表示させてください。RS-232Cの動作が設定可能になります。



3 100g/20g を押して動作の選択をします。

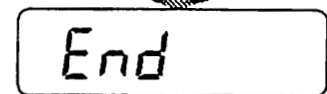
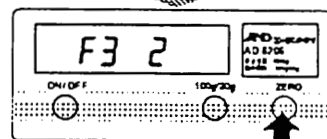
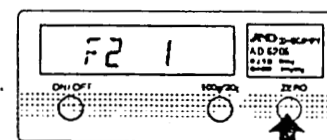
(* 出荷時設定)

F 2	* 0	ストリーム・モード
	1	コマンド・モード
	2	オートプリント

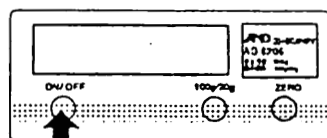


値合わせスイッチ

4 ZERO スイッチを2回押してEndを表示させてください。RS-232Cの設定を登録します。



5 ON/OFF スイッチを押してください。設定を終了します。

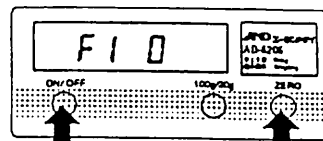


7-3 表示固定

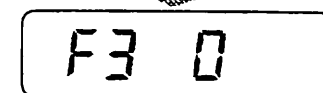
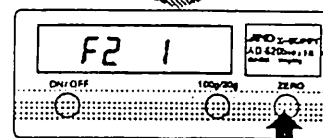
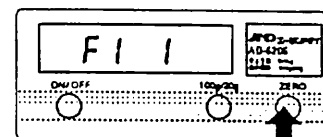
測定値(体重)が一度安定すると、その値を固定し、ある一定期間、表示し続ける機能です。設定は下記の3種類の中から選択できます。

設定方法

1 ZERO スイッチを押したまま、ON/OFFスイッチを押して電源を入れてください。



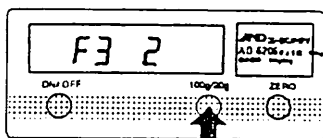
2 ZERO スイッチを2回押して F3 を表示させてください。表示固定の設定が可能になります。



3 100g/20g を押して動作の選択をします。

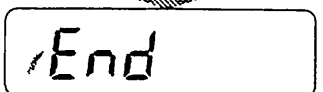
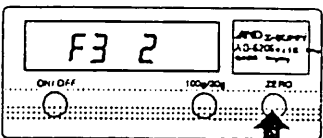
(* 出荷時設定)

F 3	0	表示値が安定しても表示固定しません。
	1	表示値が安定すると表示固定します。±3 kg 以上の変動またはゼロ表示にすると解除します。
	* 2	表示値が安定すると表示固定され、±3 kg 以上の変動があっても7秒間は表示固定し続けます。

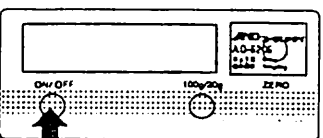


他合わせスイッチ

4 ZERO スイッチを押して End を表示させてください。設定を登録します。



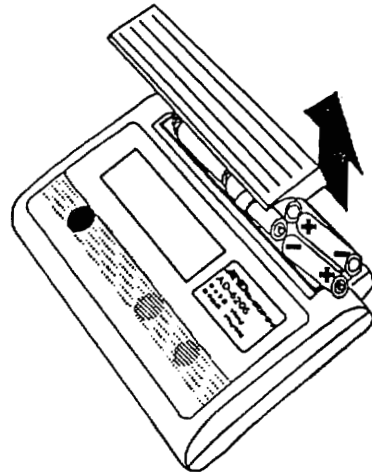
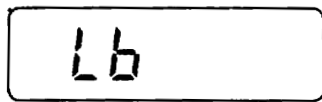
5 ON/OFF スイッチを押してください。設定を終了します。





8 ローバッテリー表示と電交換

使用中に、ローバッテリー表示（下図）が出たら直ちに使用を中断して新しい電池に交換して下さい。電池の交換はケースを開け、単3型乾電池を6本まとめて交換してください。交換の際は、電池の極性を間違えないように交換してください。





9. オプション



OP-03 RS-232C インターフェイス

ファンクション設定により、ストリームモード、コマンドモードとオートプリントモードが選択できます。設定は"7-2 RS-232C"項を参考にしてください。

(1) ストリームモード

体重計が表示している値と同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約5回/秒です。プリンタと接続する場合は、ストリームモードに設定して下さい。

(2) コマンドモード

体重計とパーソナルコンピュータ等を接続し、コンピュータから体重計にコマンドを送って、表示データを出力させたり、表示をゼロにすることができます。

用意されているコマンドはつぎの3つです。

* CFLFはターミネータです

Z CR LF

又は、T CR LF

: 表示が安定しているとき、表示をゼロにします。

Q CR LF

: 表示の安定、非安定にかかわらず、表示データを1回出力します。

連続してコマンドを送るときは、500ms以上の間隔を開けて下さい。

(3) オートプリントモード

表示が固定されるとデータが1回だけ出力されます。

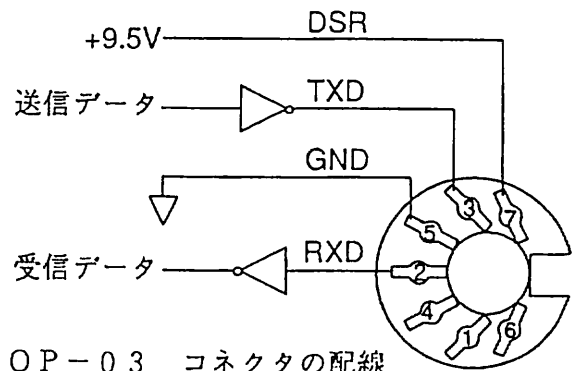
(4) インターフェイス仕様

出力規格	EIA RS-232Cに準ずる。
伝送形式	調歩同期式 (半二重方式)
信号速度	2400bps 固定
データビット長	7ビット
パリティ	1ビット (EVEN)
ストップビット	1ビット
使用コード	ASCII

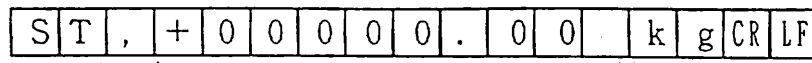
(5) インターフェイス回路

コネクタ: DIN 7ピン

コンピュータと接続するケーブル (別売) は AX-K0577A-200です。



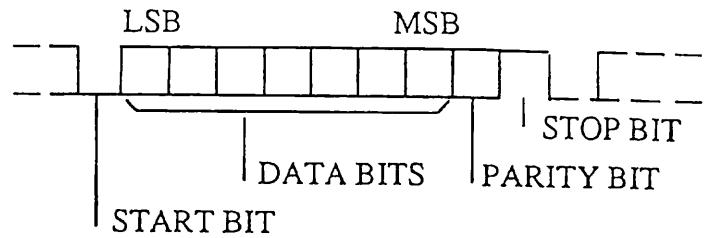
(5) データフォーマット



ヘッダ

データ

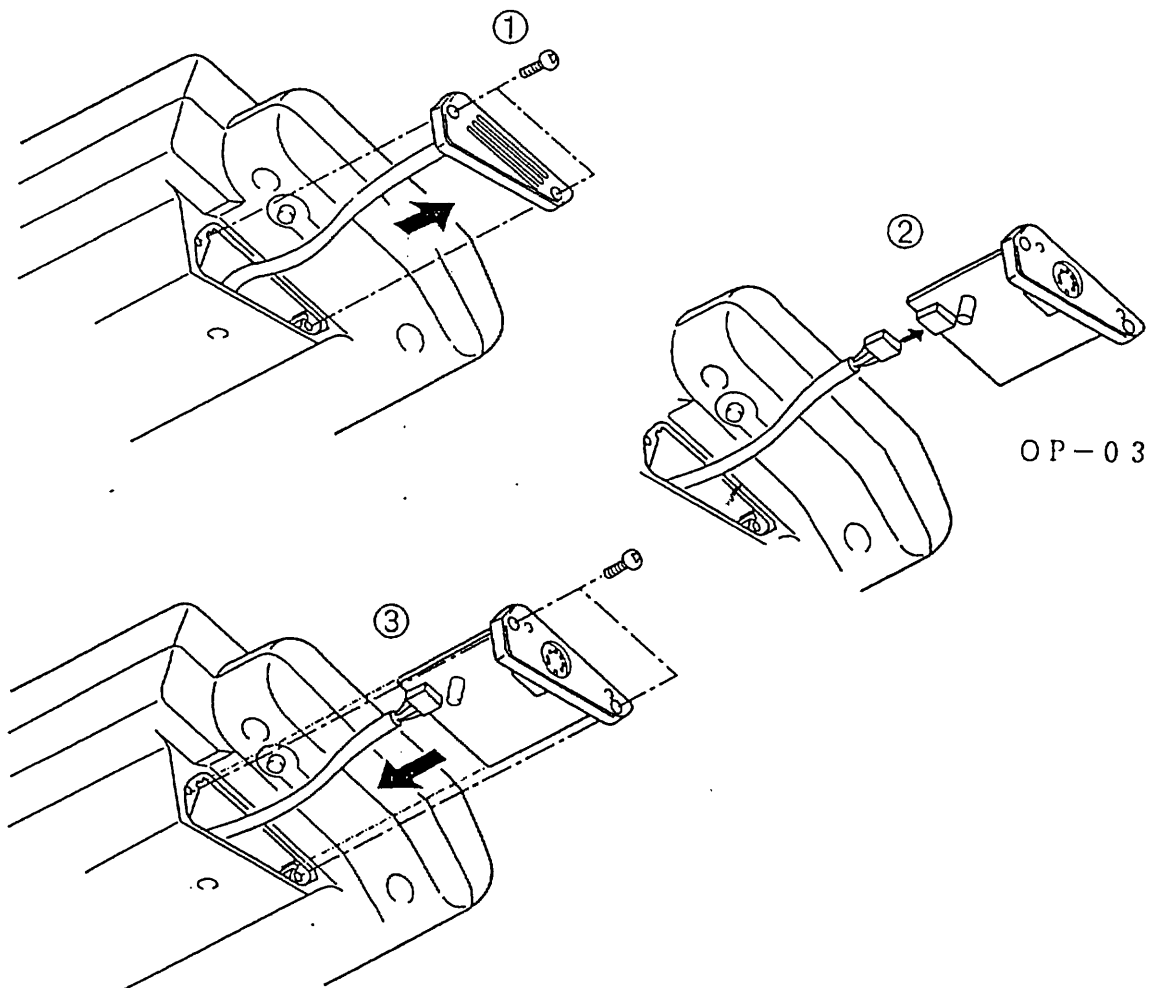
単位 ターミネータ



- ・ヘッダは、次の3種類があります。
 - ST：データが安定している。
 - US：データが安定していない。
 - OL：データがオーバーしている。
- ・データは、符号、小数点を含み9桁です。
- ・データがオーバーしている時は“±99999.99”を出力します。
- ・ターミネータは、ファンクションの設定にかかわらずCR+LFが出力されます。

(6) 取付け方法

- ① 表示器側面のブランクパネルを外してください。(ネジ2本)
- ② コネクタケーブルをOP-03RS-232Cボードに接続してください。
- ③ OP-03RS-232Cボードを挿入して、外したネジでネジ止めしてください。(ネジ2本)



(7) RS-232C サンプルプログラム

OP-03を使用して、AD-6206と、パーソナル・コンピュータ（NEC PC9800シリーズ）を接続した場合の簡単なプログラム例を示します。

① 準備

パーソナル・コンピュータ側のボーレートの設定を2400bpsにしてください。

② ストリーム・モード

AD-6206のRS-232Cを、ストリーム・モードで使用する場合、プログラムを実行すると、データを受信してディスプレイに表示します。重量値は変数“DT”に代入されます。

```
10 OPEN "COM:E71NNLL", H AS #1  RS-232Cを受信する準備
20 LINE INPUT #1, DT$           データを正しく受信するために1回空読みする
30 LINE INPUT #1, DT$           データを受信する
40 CLOSE #1                      RS-232Cの受信を終了する
50 PRINT DT$                     受信データを表示させる
60 DT1$=MID$(DT$, 4, 9)         重量のデータを取り出す
70 DT=VAL(DT1$)                 重量のデータを数値として扱う
80 END                            プログラム終了
```

③ コマンド・モード

AD-6206のRS-232Cをコマンド・モードで使用する場合、プログラムを実行すると、コマンドの入力待ちになります。Q、T、Zのいずれかを、キーボードより入力し、リターンキーを押すと、コマンドがAD-6206に送信されます。Qを入力した場合は、AD-6206からデータを受信して、ディスプレイに表示します。

Z または T : 表示が安定しているとき、表示をゼロにします。

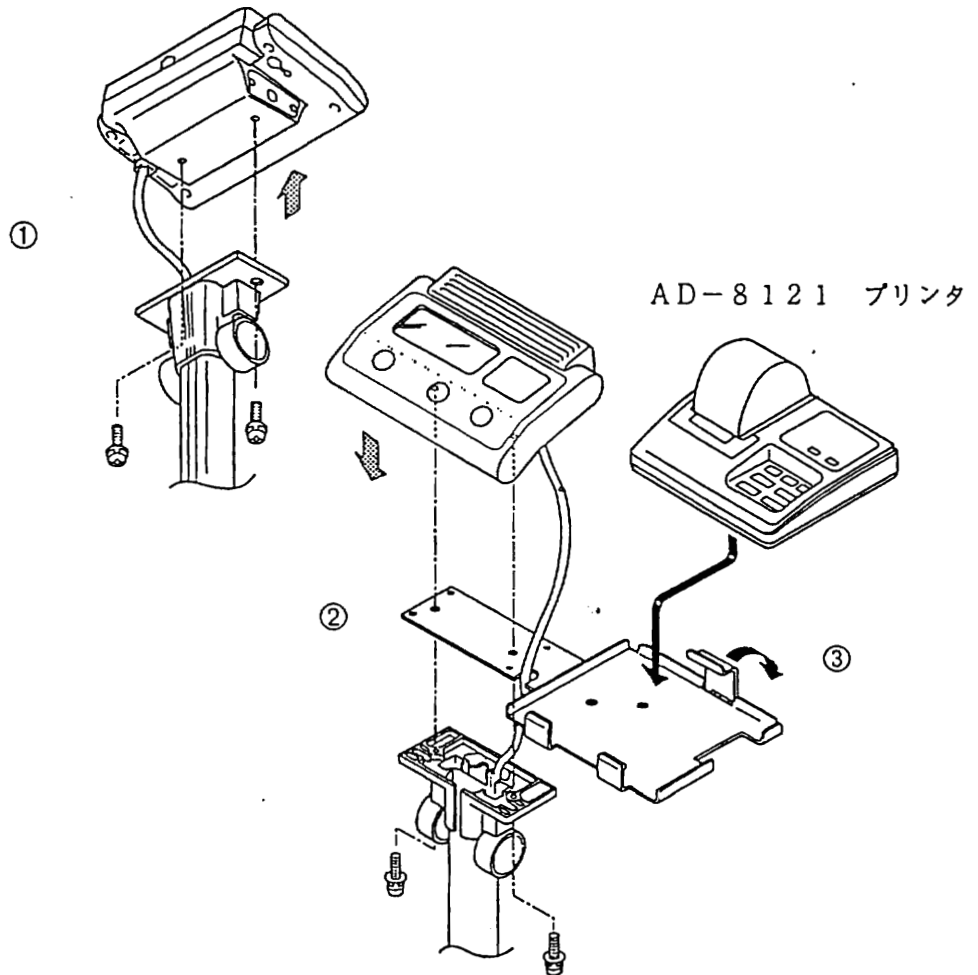
Q : 表示の安定、非安定にかかわらず、表示データを1回出力します。

```
10 OPEN "COM:E71NNLL", H AS #1  RS-232Cの受信準備
20 INPUT "コマンドを入力してください "; KY$  コマンドの入力待ち
30 PRINT #1, KY$                  コマンドを送信
40 IF KY$ <> "Q" THEN 90          Qコマンド以外なら90行へ
50 LINE INPUT #1, DT$           データを受信
60 PRINT DT$                     データを表示
70 DT1$=MID$(DT$, 4, 9)         重量データを取り出す
80 DT=VAL(DT1$)                 重量データを数値として扱う
90 FOR C=0 TO 5000: NEXT        時間待ち
100 GOTO 20                      繰り返し
110 END                            プログラム終了
```


OP-04 プリント台

AD-6206とプリンタを一体型で使うためのプリント台です。
この台は弊社のプリンタ (AD-8121) 専用です。
プリンタはプリント台を使って表示器の横に置きます。

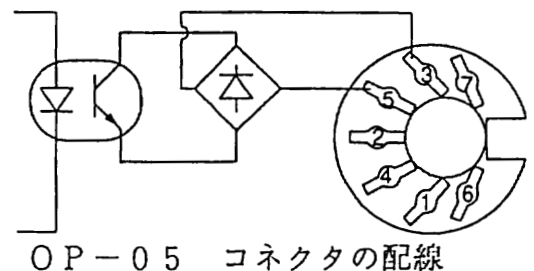
- ① 表示器を取り外します。(ネジ2本)
- ② プリント台をボールと表示器の間にはさみ外したネジでネジ止めしてください。(ネジ2本)
- ③ フックを矢印方向に倒しプリンタを乗せてください。



OP-05 プリンタ用インターフェイス

A&D社製プリンタを接続するためのインターフェイスです。* AD-8121を使用する場合、AD-8121-01のオプションケーブルが必要です。
取付け方法はOP-03と同様に取付けてください。
* AD-8121は弊社製プリンターの製品名です。

注意 プリンタ用インターフェイスを使用するときはRS-232C設定を常にF2-0に設定して下さい。

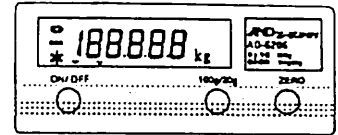


10. キャリブレーション (校正)

体重計を使用する地区 (重力加速度値) が変わったとき、または、体重計を再校正する場合は、以下の手順でキャリブレーションを行って下さい。

10-1 キャリブレーションの準備

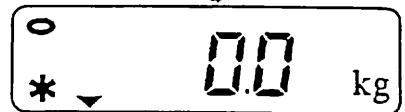
1 **ON/OFF** スイッチを押して電源を入れてください。表示が“-----”になったときには**ZERO**スイッチを押して、重量を表示させてください。



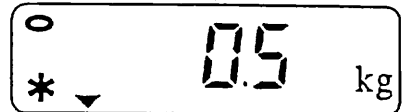
2 電源がOFFしないようにオートパワーオフ機能をOFFするかまたは、おもりなどを乗せて表示をゼロ以外にして、30分以上通電状態にしてください。(ウォーミングアップ)



注：表示がゼロになると、オートパワーオフ機能が働いて電源が切れてしまいウォーミングアップできなくなります。



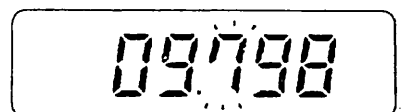
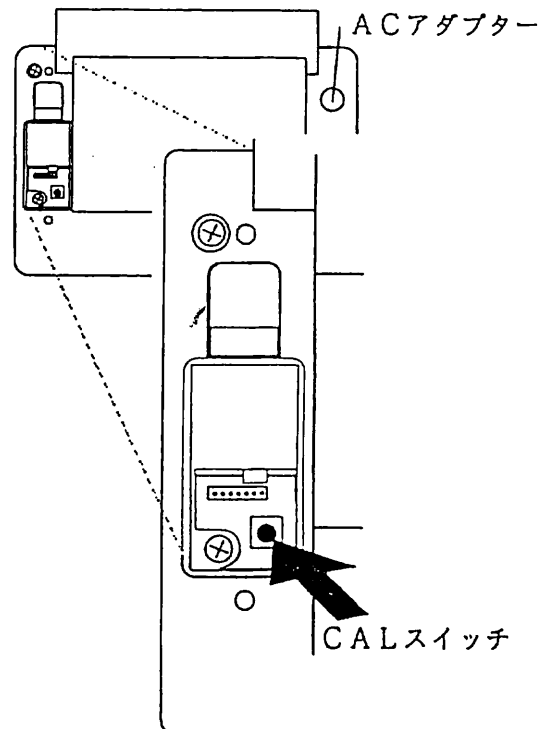
但し、重力加速度の補正だけを行う場合には、ウォーミングアップする必要はありません。



ゼロでない表示例

3 ウォーミングアップが終わったら、電源を切らずにそのまま、表示器の右底にある蓋をはずして、CALスイッチを押してください。キャリブレーションモードに入ります。

キャリブレーションモードに入ると現在設定されている重力加速度値を表示します。





10-2 重力加速度補正

1

9-1 キャリブレーションの準備を行なってください。

2

キャリブレーションモードに入った時に表示される4桁の数字は、現在設定されている重力加速度の値です。AD-6206を使用する地区の重力加速度値に合っているか重力加速度マップを使って確認して下さい。（注意：出荷時は9区の設定9.798になっています。重力加速度値が使用する地区と合っていれば **ON/OFF** スイッチを押して電源を入れ直して計量するかまたは、**ZERO** スイッチを押してゼロのキャリブレーションに進んでください。値が違っている場合は、以下の設定方法で正しい値に設定して下さい。

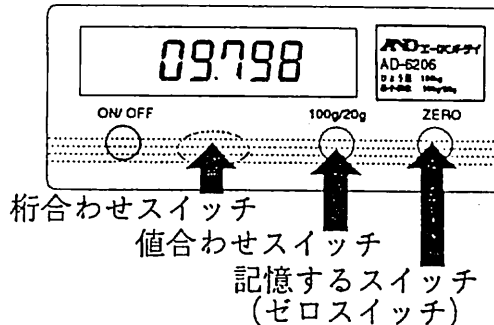
重力加速度の設定方法

〈スイッチの意味〉

ゼロスイッチ : 重力加速度の設定値を記憶するスイッチです。

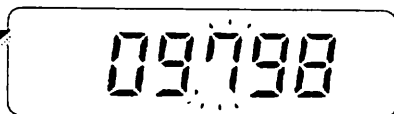
桁合わせスイッチ : 下図の位置にスイッチがあります。設定する桁を選択します。
点滅により選択中の桁を知らせます。

値合わせスイッチ : 100g/20gスイッチを使います。点滅中の桁の値を変更します。
押すごとに値が変わります。



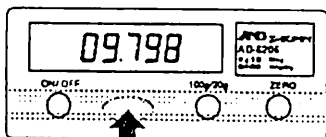
〈重力加速度の設定方法例（例9区→1区、9.798→9.806）〉

1



桁合わせスイッチを押して3桁目を選択します。

(3桁目が点滅)

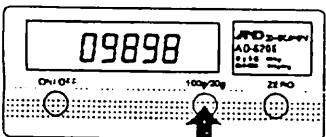


桁合わせスイッチ

2

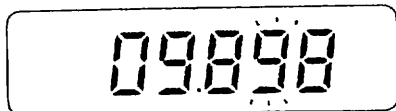


値合わせスイッチを押して3桁目の数字を‘8’にします。



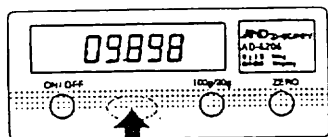
値合わせスイッチ

3



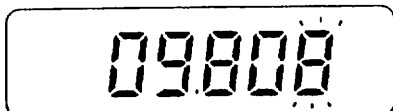
桁合わせスイッチを押して2桁目を選択します。

(2桁目が点灯)

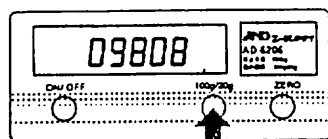


桁合わせスイッチ

4

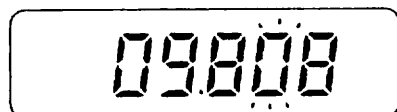


値合わせスイッチを押して2桁目の数字を '0' にします。



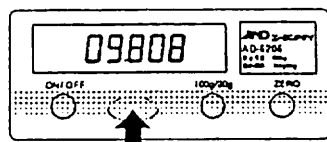
値合わせスイッチ

5

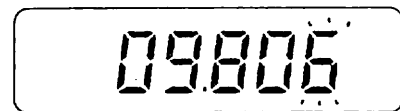


桁合わせスイッチを押して1桁目を選択します。

(1桁目が点滅)

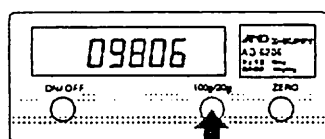


6



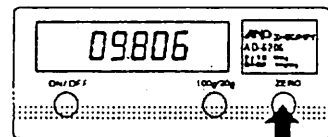
値合わせスイッチを押して1桁目を '6' にします。

(1桁目が点滅)



値合わせスイッチ

7



記憶するスイッチ

以上で重力加速度値の変更が終了し、ZEROスイッチを押してデータを記憶させます。データが記憶されると、自動的にゼロのキャリブレーション（ゼロ点校正）へ進みます。重力加速度の設定のみ行なう場合、ON/OFFスイッチで電源を切ってください。

10-3 ゼロのキャリブレーション (ゼロの校正)

ゼロのキャリブレーションは椅子に何も乗っていない状態でゼロ表示をするように校正します。

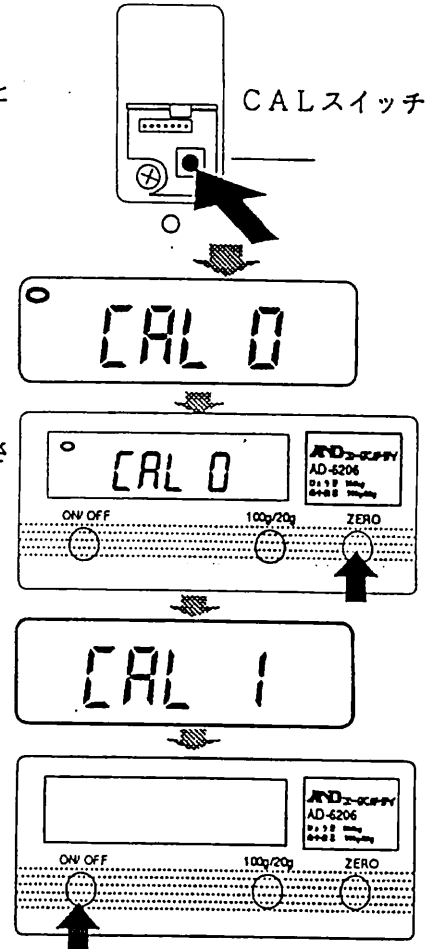
設定方法

1 「10-1 キャリブレーションの準備」のウォーミングアップと「10-2 重力加速度補正」を行なってください。

2 **CAL** スイッチを押して、**CAL 0** と表示させてください。

3 安定マークが表示したなら、**ZERO** スイッチを押してください。ゼロ点を記憶し、**CAL 1** 表示になります。

4 ゼロのキャリブレーションを終了するために、**ON/OFF** スイッチを押して電源を切ってください。



10-4 スパンのキャリブレーション (スパンの校正)

スパンのキャリブレーションは計量値が正しく表示されるように体重計を校正します。

〈設定の注意〉

キャリブレーション (校正) に使用する分銅は、1級分銅を使用し、その重さは合計で100Kg以上 (最大秤量150kgの2/3以上) となる分銅を使用してください。

設定方法

1 「10-1キャリブレーションの準備」のウォーミングアップと「10-2重力加速度補正」を行なってください。

2 **CAL** スイッチを押して、**CAL 0** と表示させてください。

3 安定マークが表示したなら、**ZERO** スイッチを押してください。ゼロ点を記憶し、**CAL 1** 表示になります。

4 **ZERO** スイッチを押してください。スパン分銅値を表示します。

5 スパン分銅値を次のスイッチで設定してください。

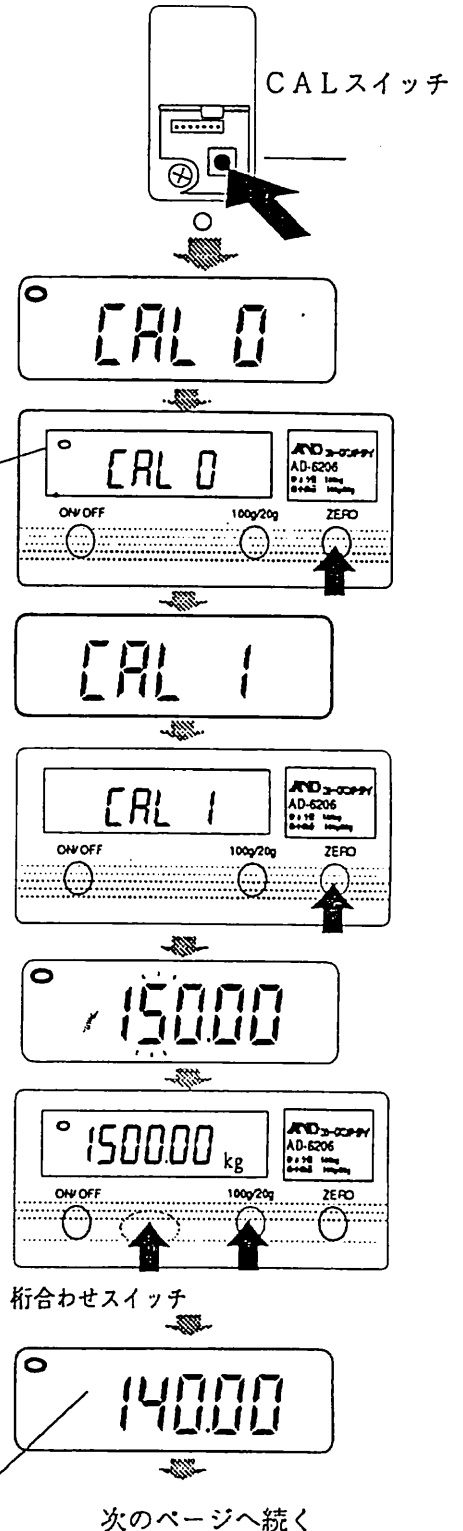
〈スイッチの意味〉

ゼロスイッチ : スパンを記憶するスイッチです。スパン分銅を乗せてから押してください。

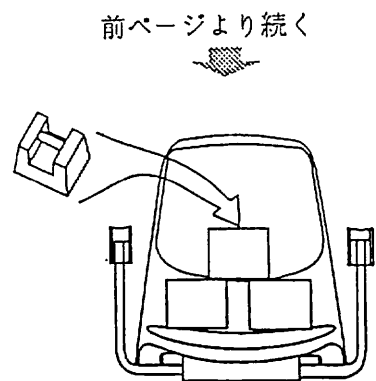
桁合わせスイッチ : 右図の位置にスイッチがあります。設定する桁を選択します。点滅により選択中の桁を知らせます。

値合わせスイッチ : 100g/20gスイッチを使います。点滅中の桁の値を変更します。押すごとに値が変わります。

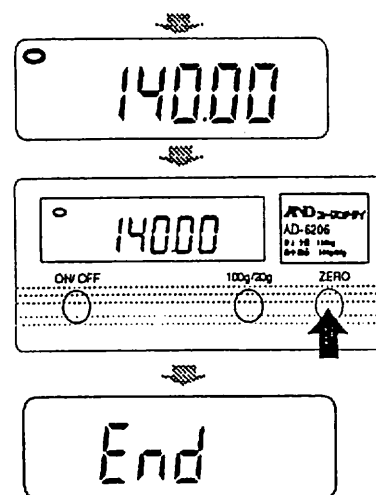
〈設定例〉 スパン分銅を150kgから140kgに変更した設定例です。



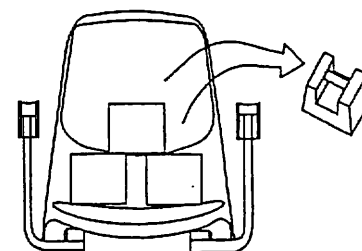
6 設定されたスパン分銅の重量を乗せてください。



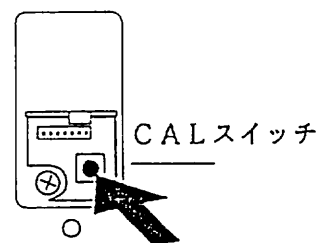
7 安定マークが表示したら、ZEROスイッチを押してください。
スパンを記憶します。



8 スパン分銅を降ろしてください。



9 CALスイッチを押してください。キャリブレーションを終了し通常の計量に進みます。





11. 修理を依頼される前に!

修理を依頼される前に下記事項を御確認してください。

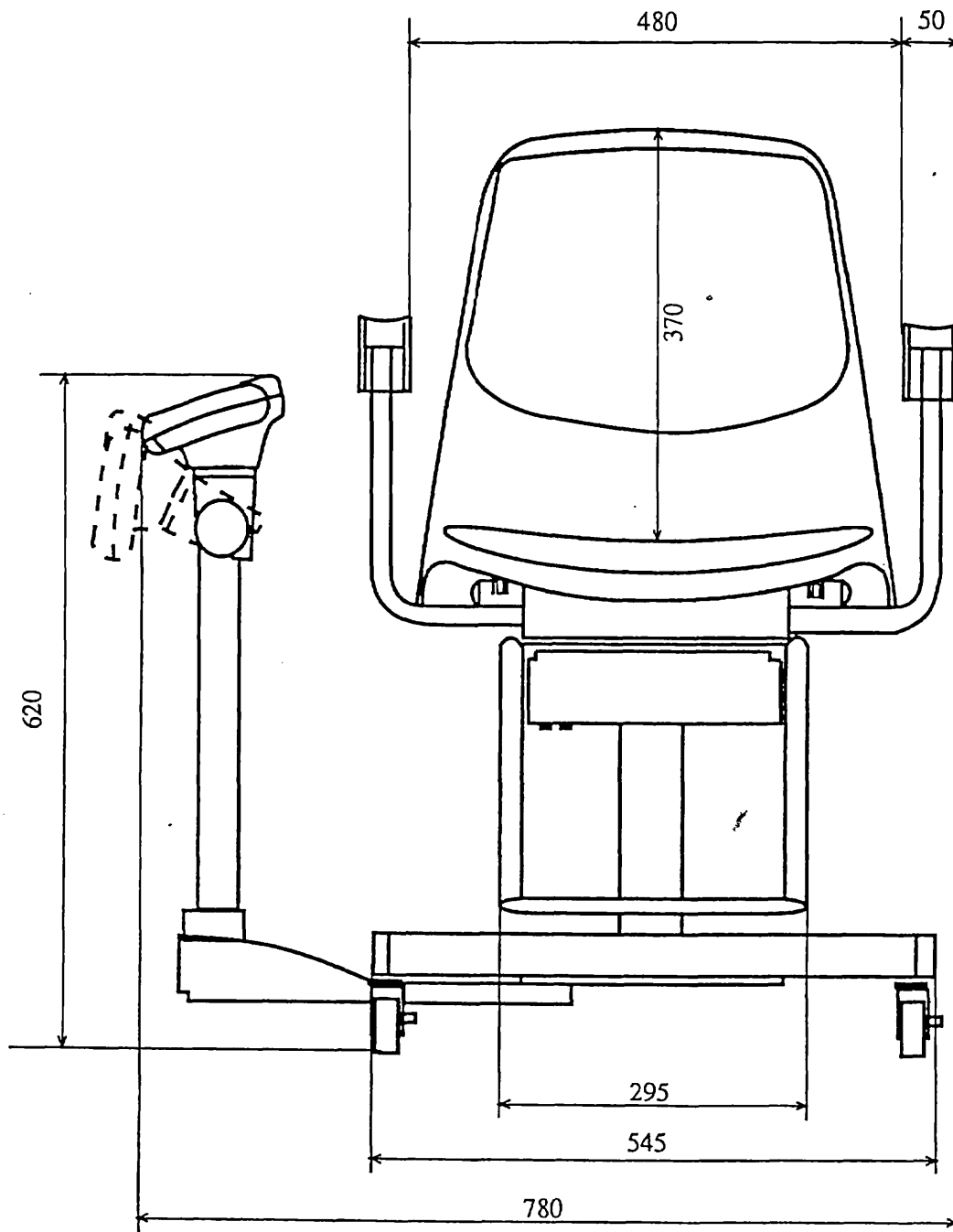
現象	確認あるいは調整
電源をONしても何も表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電池は正しく入っていますか? ・電池が消耗していませんか? ・ACアダプタは正しく接続されていますか?
-----を表示したまま変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子に何か乗っていませんか? ・ゼロ点がズレていませんか? (ZEROスイッチを押してみてください。)
負荷した重さと表示がズレている。	<ul style="list-style-type: none"> ・水平に設置されていますか? ・重力加速度は合っていますか? (10-2 参照) ・キャリブレーションは正しい分銅で行ないましたか? (10-1 参照)
Err Bを表示した。	<ul style="list-style-type: none"> ・データが内部に正しく記憶されていません いったん電源をOFFし、再度設定してみてください。(“7ファンクション”参照)
スイッチがきかない。 表示が変化しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電池又はACアダプターを抜いて、1度電源を完全に切って再度入れ直してください。
ゼロスイッチが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れたとき椅子に何か乗っていませんか。椅子の上のものを降ろし、電源を入れ直してください。



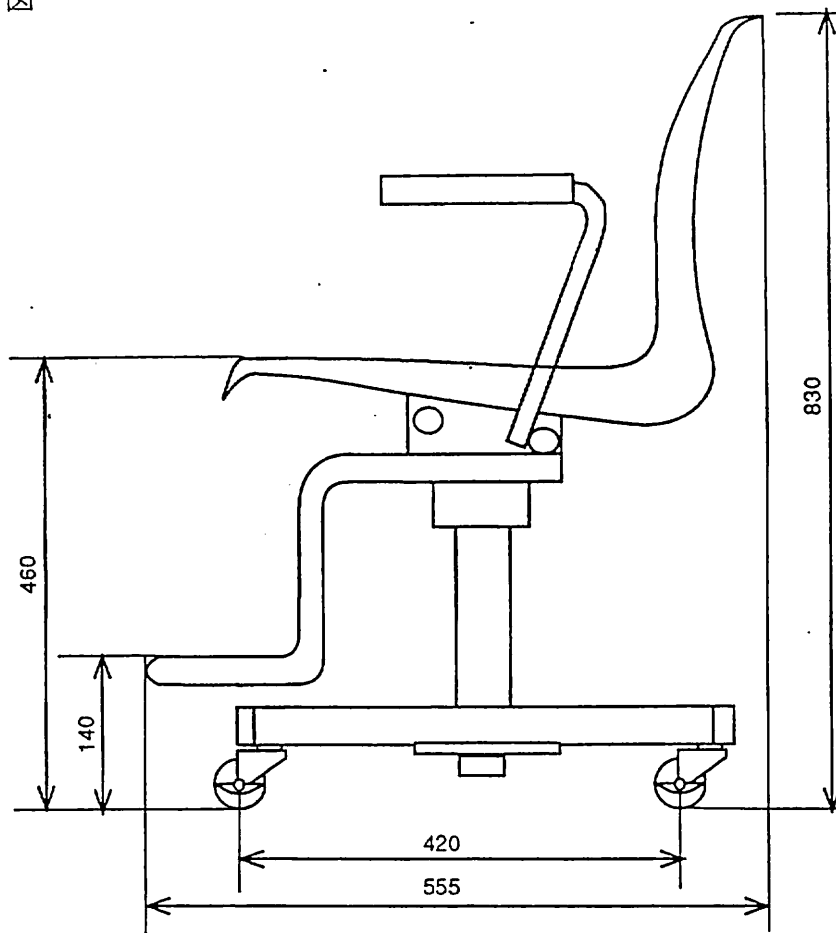
12. 仕様・外形図

型式	AD-6206
秤量	150kg
最小表示	100g/20g
表示方法液晶表示	(文字高さ22mm、7セグメント)
使用温湿度範囲	-5℃~35℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)
電源	ACアダプター (AX-TB113) 又は 単3乾電池6本
乾電池寿命	アルカリ乾電池使用時約70時間(使用環境によって変わる場合があります)
重量	約20kg

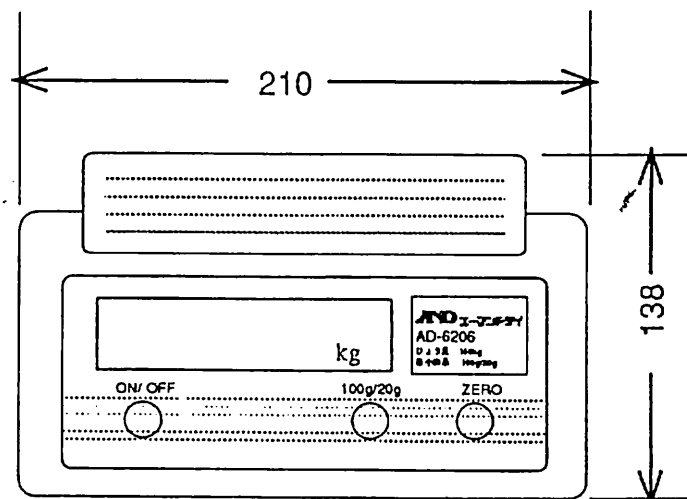
正面図



側面図



表示部

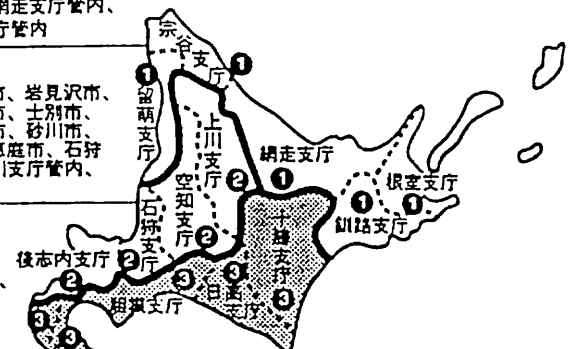


区	加速度
①	9.806
②	9.805
③	9.804
④	9.803
⑤	9.802
⑥	9.801
⑦	9.800
⑧	9.799
⑨	9.798
⑩	9.797
⑪	9.796
⑫	9.795
⑬	9.794
⑭	9.793
⑮	9.792
⑯	9.791

①区/釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内、網走支庁管内、根室支庁管内、釧路支庁管内

②区/札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美瑛市、虻川市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、取志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、後志内支庁管内、上川支庁管内、空知支庁管内

③区/函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、桧山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内、十勝支庁管内



④区/青森県

⑤区/岩手県、秋田県

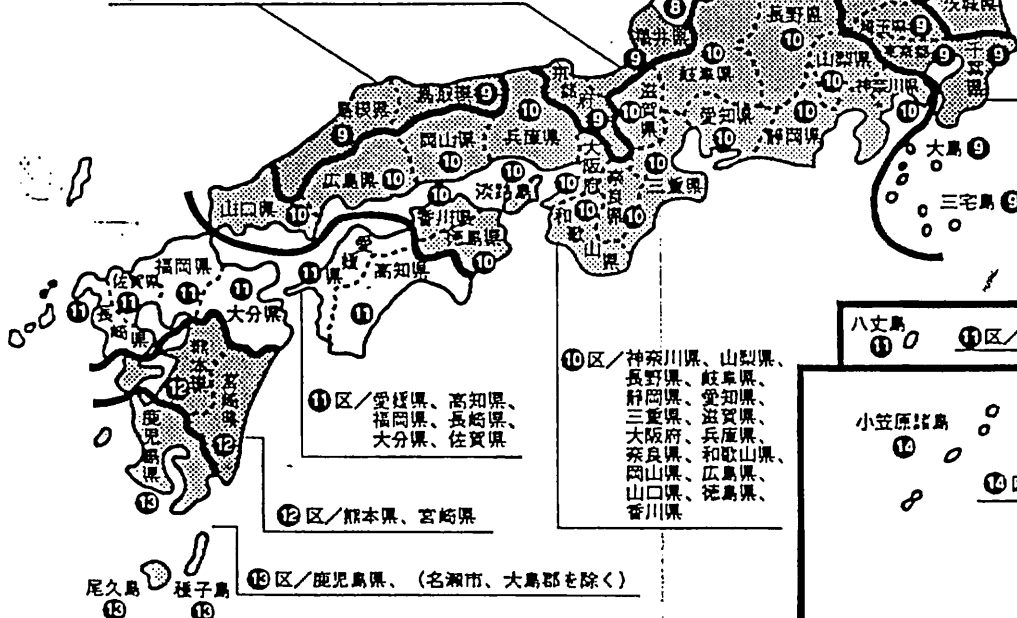
⑥区/宮城県、山形県

⑧区/栃木県、富山県、石川県

⑦区/福島県、茨城県、新潟県

⑨区/福井県、京都府、鳥取県、島根県、

⑧区/群馬県、埼玉県、千葉県、東京都 (八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く)



⑩区/神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県

八丈島 ⑪区/東京都 (八丈支庁管内に限る)

小笠原諸島 ⑬区/東京都 (小笠原支庁管内に限る)

尾久島 種子島 ⑭区/鹿児島県、(名瀬市、大島郡を除く)

大島 ⑮区/鹿児島県、(名瀬市、大島郡に限る)

徳之島 ⑮区

⑯区/沖縄県

重力加速度マップ